



ピアノコンサート開催報告

第3回天文台ピアノコンサートは、ジャズ！

能丸千秋

昨年、第1回、第2回と大好評だった天文台ピアノコンサートの第3回目が、6月7日に開催されました。夕方から、解析棟大セミナー室の椅子を埋め尽くすほどの人々が集まる中、軽快なピアノの音色が響きました。

今回の演奏者は、ジャズピアニストの羽仁知治さんでした。羽仁さん自身が天文好きということもあり、「空」「星」にちなんだ、スタンダードなジャズの名曲「星に願いを」「虹の彼方に」などの他、羽仁さんのオリジナル曲で、美しい旋律の「I'll be there for you」などが演奏されました。聴いている人たちの体も自然に、ジャズの軽やかなリズムを刻んでいました。

天文台でピアノコンサートを始めた家正則教授から、「だれかお知り合いにピアニストはいませんか？」と聞かれ、すぐに思い浮かんだのは母校の先輩で個人的にもお世話になっている羽仁知治さんでした。羽仁さんは、テレビにも多数出演、コンサートにも引っ張りだこのジャズピアニストです。しかし、気さくなお人柄なので、天文台のセミナー室といういつもと違う場所での演奏も引き受けてくださるだろうと思っていました。

そして、羽仁さんのご厚意で、天文台でのコンサートが決まり、3人で打ち合わせしてうち、羽仁さんのピアノと、家さんのギターのセッションもいいのではということになりました。「講義なら緊張しませんが、人前でギターの演奏は……」と、最初は躊躇されていた家さんですが、羽仁さんがピアノの下見にいらしたとき一緒に演奏すると大変に楽しく、「蛮勇を奮うことにした」そうです。こうして、他では叶うことがない、「ジャズピアニスト」と「天文学者ギタリスト」という、めずらしいジョイントで2曲のボサノバの演奏が実現しました。

また羽仁さんは、コンサートの1ヶ月前に結

婚されたばかり。奥様であるジャズボーカリスト羽仁華世さんとのジョイントも2曲ありました。華世さんのおしゃれなトークのあと、エラフィッツジェラルドを彷彿とさせる力強く美しい声で、二人の息がぴったり合った「サマータイム」などの演奏を聴かせてくださいました。

最後には羽仁さんがリクエストに応え、ポピュラーな曲をオリジナル・メドレーで弾き、ジャズの醍醐味である即興演奏も心に残りました。羽仁さんの才能に魅了され、あっという間に1時間のコンサートが終わりました。

演奏後、「ジャズを聴くのは初めてだったけれど、とても気に入った」と言いに来てくださる方もいて、印象深いコンサートのタベとなりました。ピアノの演奏が始まると、音楽がずっと天文台に溶け込んでいくようでした。音楽を楽しむ気持ちというのは、人間の自然な要求であることを実感しました。一日の仕事を終えたあとに、心を豊かにし

てくれる音楽が聴かれる環境は素晴らしいと思います。

当日、裏方としてコンサート会場の設置、インターネットライブをしてくださったスタッフの方たちにも、この場を借りてお礼申し上げます。

最後に、羽仁知治さんのプロフィールを簡単にご紹介致します。

☆☆☆☆☆☆☆☆

♪ 5歳よりピアノを始める。小学校時代、テレビでみたジャズピアニスト・オスカーピーターソンの演奏に触発され、ジャズピアノに興味をもつ。高校卒業後、プロとしての活動を始め、コンサート演奏の他、CM音楽制作、レコーディングアレンジ、プロデューサーもこなす。合計7枚のCDを出している。そのうち購入できるCDは、「tears」「Silent Collections」「In the Sky」「Dream Time」「Jazz not Jazz」「Kissaco」「天使の涙～サイレント・ピアノ・コレクション」。詳しくは、羽仁知治公式サイトをご覧ください。

<http://www.tomoharuhani.com>



▲天文台コンサートならではのセッションが実現（奥・羽仁さん、手前・家さん）